

福井工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	コミュニケーション (F4)	
科目基礎情報							
科目番号	0039			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	1年混合学級 (一般教育科目)			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル						
担当教員	宮本 友紀						
到達目標							
(1) 基礎的な文法形式を用いながら、簡単な英文を流暢かつ正確に表出できること。 (2) 身近な話題について、筋道を立てた英文を表出することができること。 (3) 海外の文化や慣習に興味を持ち、異文化に対する理解を深めること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文法項目の理解・表出テストにおいて、85%以上の理解度に到達できる。			文法項目の理解・表出テストにおいて、複数回挑戦する中で85%以上の理解度に到達できる。		文法項目の理解・表出テストにおいて十分な理解度に到達していない。	
評価項目2	日常的な話題についてまとまりのある英文を正確に表出することができる。			日常的な話題について理解可能な英文を表出することができる。		日常的な話題についてまとまりのある英文を表出するに至っていない。	
評価項目3	異文化や海外留学に関連した情報を収集し、自らの体験や考えと照らし合わせて、その内容をまとめることができる。			異文化や海外留学に関連した情報を収集し、その内容をまとめることができる。		異文化や海外留学に関連した情報を自ら収集できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RC1							
教育方法等							
概要	基礎的な文法項目の理解、活用に重点を置き、様々な形式で繰り返し練習する中で、英語運用能力の基礎を培う。身近な話題について、まとまりのある英文を話したり書いたりする練習を定期的に行い、英語表出能力の育成を目指す。						
授業の進め方・方法	基礎的な文法項目について様々な形式で練習し、英語運用能力の基礎を培う。また、スピーキング活動やライティング活動を定期的に行い、身近な話題についてまとまりのある英文を表出する能力を育成する。						
注意点	評価方法：100点満点で評価する。定期試験（40%）、小テスト・単語テスト・課題等（60%）で評価する。なお、定期試験については、以下の基準で評価を行う。 A（40点 / 40点）：4回の定期試験において、全ての試験で85点以上の点数を取得。 B（30点 / 40点）：4回の定期試験において、85点以上取得できない試験が1回見られた。 C（20点 / 40点）：4回の定期試験において、85点以上取得できない試験が2回見られた。 D（10点 / 40点）：4回の定期試験において、85点以上取得できない試験が3回見られた。 E（0点 / 40点）：4回の定期試験において、1回も85点以上取得できなかった。 評価基準：100点満点中60点以上で合格とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 自己紹介				
		2週	コミュニケーション活動 Lesson01 英語の語順SV文型				
		3週	コミュニケーション活動 Lesson 02 英語の語順SVC文型				
		4週	コミュニケーション活動 Lesson 03 英語の語順SVO文型				
		5週	コミュニケーション活動 Lesson05 SVOO文型				
		6週	コミュニケーション活動 Lesson06 英語の語順SVOC文型				
		7週	Review				
		8週	Review				
	2ndQ	9週	Mid-term Examination				
		10週	コミュニケーション活動 Lesson04 形容詞と副詞				
		11週	コミュニケーション活動 Lesson07 主語と動詞				
		12週	コミュニケーション活動 Lesson08 名詞と代名詞				
		13週	コミュニケーション活動 Lesson09 否定文と疑問文				
		14週	コミュニケーション活動 Lesson10 過去形				
		15週	Final Examination				

		16週	Review	
後期	3rdQ	1週	コミュニケーション活動 Lesson12 進行形	
		2週	コミュニケーション活動 Lesson13 未来の表現	
		3週	コミュニケーション活動 Lesson14 助動詞	
		4週	コミュニケーション活動 Lesson15 疑問詞を使った疑問文	
		5週	コミュニケーション活動 Lesson16 前置詞と名詞	
		6週	コミュニケーション活動	
		7週	Review	
		8週	Mide-term Examination	
	4thQ	9週	コミュニケーション活動 Lesson17 不定詞	
		10週	コミュニケーション活動 Lesson18 動名詞と不定詞	
		11週	コミュニケーション活動 Lesson20 比較級と最上級	
		12週	コミュニケーション活動 Lesson21 比較の色々	
		13週	コミュニケーション活動 Lesson22 受け身の表現	
		14週	Review	
		15週	Fina Examination	
		16週	Review	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	

評価割合

	定期試験	小テスト・単語テスト・課題等		合計
総合評価割合	40	60	0	100
基礎的能力	40	60	0	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0